

令和7年度千葉県公立高等学校第1学年生徒募集定員の決定

令和7年3月の中学校卒業予定者については、約5万2千320人で、前年と比較して870人の減を見込んでいます。ここから定時制・通信制への進学見込み者及び県内私立高等学校、県外高等学校の全日制への進学見込み者等を除き、令和7年度公立高等学校全日制的課程の募集定員を2万9千880人と決定いたしました。

令和7年度千葉県公立高等学校全日制的課程の第1学年の生徒募集定員については、志願倍率の推移や学校の施設状況等を考慮し、合計24学級の減を行いました。

なお、定時制、通信制の課程及び専攻科については、前年と同数となります。

区分	募集定員	学級数	
全日制	29,880人	747学級	960人減（24学級減）
定時制	1,400人	35学級	令和6年度と同数
通信制	500人		令和6年度と同数
専攻科	50人		令和6年度と同数

※全日制的募集定員は、市立稲毛国際中等教育学校前期課程から後期課程への進級者分を除く。ただし、この数は、前年度の市立稲毛高等学校附属中学校からの内部進学者分と比較すると、80名（2学級）増となるため、これら進級者分と内部進学者分の増減も加味すると、全日制的募集定員は880人減（22学級減）となる。

なお、市立稲毛国際中等教育学校は、後期課程での募集は行わない。

各高等学校、各学科の募集定員など詳細については、ホームページを御覧ください。
ホームページアドレスは次のとおりです。

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shidou/press/2024/koukou/r7teiin.html>

お問い合わせ先：企画管理部教育政策課 電話043-223-4026

インデックス&ミニ・トピックス

インデックス(目次)	頁
令和7年度千葉県公立高等学校 第1学年生徒募集定員の決定	1
インデックス&ミニ・トピックス、教育長コラム	2
令和6年度千葉県児童生徒・教職員 科学作品展一般公開の御案内	3
オンライン授業配信(エデュオプちば)	4
子どもと親のサポートセンターより	5.6
県内学校ミニ・ニュース (九十九里町立九十九里小学校)	7
イベント情報 (生涯学習課・文化振興課・競技スポーツ振興課)	別冊

第9回全国ボッチャ選抜甲子園
県立船橋夏見特別支援学校が優勝しました！(8月10日)

千葉県立船橋夏見特別支援学校は、予選会を突破し、第9回全国ボッチャ選抜甲子園に出場を決めました。

令和6年8月10日(土)に東京都墨田区の「ひがしんアリーナ」にて、予選上位15校と昨年度優勝校1校が全国から集まり、トーナメント方式にて決勝大会が行われ、見事優勝を果たしました。

【結果】

1回戦	高松支援学校	7-0	勝利
2回戦	福井特別支援学校	3-0	勝利
3回戦	佐世保特別支援学校	2-0	勝利
決勝戦	府中けやきの森学園	5-4	勝利



優勝を喜ぶ満面の笑みの選手たち



チームの司令塔の2人



ねらいを定めた一球

県教委 NEWS



各学校のウェブページから「県教委ニュース」へのリンクをお願いしています。バナーもご活用ください。

教育の舞台でつながる思い～教育長コラム～



県教育委員会では、県立学校の生徒を対象に「あなたの声を聴かせてくださいキャンペーン」を実施しています。企業が消費者の声を聞くように、私たちが子供の声を直接聞くことは、とても大切なことです。「『きく』の5段階活用」という話を聞いたことがあります。人の話を「きく」には、「訊く→聞く→聴く→利く→効く」と5段階があるそうです。相手の話を引き出すために、「話してくれる？」などと尋ねる「訊く」→まずは耳で「聞く」→内容を確認して受け止めて「聴く」→話してくれた提案を受け入れたり助言を行ったりする「利く」→話をきっかけに関係が深まり、周囲の環境が改善される「効く」。子供たちの声を聞いたままにせず、より良い環境づくりにつなげたいと思います。



令和6年度 千葉県児童生徒・教職員科学作品展 一般公開

昨年度の様子 科学論文の部



科学工夫工作の部



- ・ 科学工夫作品の部
- ・ 科学論文の部
- ・ 自作教具の部

期日 令和6年10月19日（土）
20日（日）

時間 9：30～15：30

会場 千葉県総合教育センター

今年度、県に出品された全ての作品を展示する予定です。
ご来場お待ちしております。

- 県内の優秀な科学工夫作品、科学論文、自作教具約650点が集まります。
 - 受賞者は、10月9日（水）16時以降に、下記Webサイトでお知らせします。
- ※ 駐車場に限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ

千葉県総合教育センター
カリキュラム開発部 科学技術教育班
電話 043-276-1184 FAX 043-276-4095
〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13
<https://www.ice.or.jp/nc/shien/kagaku/sakuhin/>
P 3



オンライン授業配信（エデュオプちば）

令和6年6月から、学校を長期に欠席している中学生の皆さんに向けて、自分の教室にいなくても授業が受けられるオンラインでの授業配信をスタートしました。

様々な理由で学校に登校できていない生徒の皆さんの学びの場として、ぜひご活用ください。

- | | |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ★対象 | 県内の中学校（義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を含む）に在籍する生徒及び千葉県在住の中学生で、不登校の状態（※）にある方
※目安として、 <u>昨年度30日以上</u> の欠席または <u>今年度連続して欠席しており、現在も自分の教室で授業を受けられていない生徒</u> （欠席の理由は問いません） |
| ★授業内容 | オンラインによる双方向型の授業
国語、社会、数学、理科、英語の5教科 |
| ★学習場所 | 自宅、教育支援センター、フリースクール等、インターネットにつながれば場所は問いません |
| ★リアルタイム配信期間 | 長期休業期間を除く平日
授業の日課表は、県ホームページに掲載しています。 |
| ★必要なもの | インターネットにつながるパソコンやタブレット、申込等に使用するメールアドレス |
| ★申込方法 | ちば電子申請サービスより申込
※お申込みは、保護者の方をお願いしています。
※申込み後、在籍の有無や出欠状況について学校等へ照会しますので、ID等を付与するまでお時間がかかる場合があります。 |

オンライン授業配信の詳細につきましては、こちらをご覧ください。

県ホームページ： <https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/jisei/seitoshidou/eduoppnet-chiba.html>

⇒ 動画での説明がありますので、ぜひご覧ください。



県ホームページ

【お問い合わせ先】

千葉県教育庁教育振興部
児童生徒安全課不登校児童生徒支援室

E-mail : futoukou-shien@mz.pref.chiba.lg.jp

F A X : 043-221-6570

※お問い合わせにつきましては、電話がつながりにくくなることがありますので、メールまたはF A Xをお願いします。



メールアドレス



チーパくん

子どもと親のサポートセンターより

ワンストップ・オンライン相談 受付中のお知らせ

◆ Zoom で無料相談できる！

子どもだけでなく、保護者、教職員の方もご利用できます。

・相談方法は2種類あります。

1. 話す
2. チャット(文字)

*話すのが苦手な方でも、本人画像がオフの状態でも大丈夫です。



千葉県子どもと親のサポートセンター
マスコットキャラクター こさぼん

◎こんなお悩みに寄り添います！

ひどいことを言われて
悲しかった…

学校に
いきたくないな…

将来どうすれば
いいんだろう…？

何かを不安に思うことは、
とっても自然なこと



予約フォーム
二次元コード

予約方法

相談の予約は右の二次元コードまたは、子どもと親のサポートセンターHP 上部にあるバナーの左から2番目にある各種ご相談へ行き、上から2番目ワンストップ・オンライン相談の予約フォームから行えます。

*土日・祝日を除いた月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで1日40分、1日7コマ

令和6年度 休日開放事業 教育相談講演会2 ご案内

講演：「子供の理解を深める一起立性調節障害の観点から」

講師：学会会木村病院 医師、心理研究所「しゅはり」所長 松木 悟志 氏

今回の教育相談講演会2では、学会会木村病院の医師であり、心理研究所「しゅはり」の所長である松木悟志氏に、起立性調節障害の観点から子供の理解を深める講演を行います。参加費は無料で、子どもと親のサポートセンター所員による不登校等の個別相談も行っています。県民や教育関係者などで、少しでも興味を持たれた方はお気軽にご参加ください！

※個別相談を希望される方は申込時にお知らせください。



千葉県子どもと親のサポートセンター
マスコットキャラクター こさぼん

日時：令和6年11月30日（土）

受付 9:00～9:25

講演 9:30～12:00

個別相談 13:00～（1ケース：30分）

会場：千葉県総合教育センター 大ホール

対象：県民・教育関係者

定員：120名 参加費：無料

申込方法

① ちば電子申請サービス（右の二次元コード又は、下記 URL）に入り、「利用者登録せずに申し込む方はこちら」という欄から申込できます。メールアドレス登録を行い、送られてきた URL の登録ページにて必要事項を入力してください。

ちば電子申請サービス URL：https://apply.e-tumo.jp/pref-chiba-u/offer/offerList_detail?tempSeq=31319



②電話 043-207-6037

③FAX 043-207-6041

④メール saposoudan@chiba-c.ed.jp

➤ 以下の内容を御記入ください。

- 件名「教育相談講演会2申し込み」
- 氏名（ふりがな）
- 所属（教育関係者以外の方は「一般・市町村名」明記）
- 連絡先（電話番号）
- 個別相談希望の有無



※手話通訳や車いす等を希望される場合は、参加申し込み時にお申し出ください。締め切りは、11月15日（金）です。

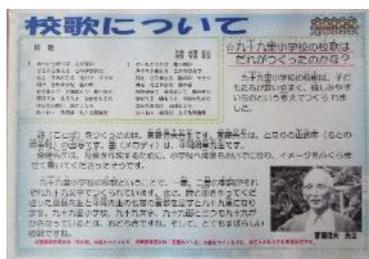
県内学校ミニ・ニュース (九十九里町立九十九里小学校)

本校は、昭和47年創立で、今年度で開校52年目になります。三方を水田と作田川に囲まれ、夏場でも涼しい風が教室を通り抜ける恵まれた地域環境です。地域の多くは水田や畑で、2kmほど東には広大な九十九里浜が広がっています。

本校の特徴の一つが、昭和48年に制定された校歌です。歌詞は「里の秋」で有名な斎藤信夫氏に作っていただいたものです。また、1番・2番とも「九十九里」にちなんで99文字で作られているということもこだわりの一つとなっています。九十九里浜が近くにあることを生かして、毎年「なぎさの運動会」という砂浜での運動会を実施し、児童はもちろんのこと、保護者や地域の方からも楽しみにしていただいている伝統行事となっています。

【校歌について】

【なぎさの運動会の様子】



また、本校には「英知の会」という歴代PTA会長をメンバーとする学校支援団体があります。「英知」という言葉は、校歌の2番にある「頬を寄せて 英知足して 根かぎり」という歌詞からきています。平日の教育活動支援のみならず、休日・早朝にも、校庭の草刈りや学校園の世話をしてくださっています。児童は、その姿を見たり一緒に活動したりする中で、感謝の心と豊かな情操が養われていきます。

【栽培活動(さつまいもの苗植えの様子)】

【いも掘りの様子】

【焼きいも体験】



児童・保護者・地域・環境に恵まれた九十九里小学校。本校は、「地域を誇れる学校」「地域に誇れる学校」「地域が誇れる学校」になるよう、職員一同、力を合わせそれぞれの特性を発揮して、児童の笑顔のために頑張っていきたいと思ひます。